

## 企業としてのステップアップを 日々実感しています。

有限会社ケイ・ピー・ディ 代表取締役 加藤木 一明

### 会社概要

会社名	有限会社ケイ・ピー・ディ
代表者	代表取締役 加藤木 一明
設立	2004年(創業は1999年)
資本金	300万円
事業内容	プリント基板の設計・製造・部品実装・ 組立・コンサルティング・電子機器開発
URL	<a href="http://www.kpd-jp.biz/">http://www.kpd-jp.biz/</a>



### 東京理科大学との 技術連携(共同研究等)のきっかけ

当社は家電やAV機器等に搭載されるプリント基板の設計を中心に、これと関連する周辺業務を主な事業として展開しています。設立当初から取引先メーカーの相談やニーズにきめ細かく対応することを心がけてきており、プリント基板の設計や製作に関するノウハウはかなり蓄積されていると自負しています。東京理科大学と技術連携に至る最初のきっかけは、大手企業との共同研究で必要となる試作機の開発をURAセンターのコーディネータを通じて依頼されたことです。この試作機開発において、これまでに蓄積した当社のノウハウを活かして取り組んだことが、研究室や大手企業から高い評価を受け、今日まで共同研究に参画させていただいているものと考えています。また、この取り組みが後の「インキュベーションルーム」への入居に繋がりました。



プリント基板アート作品の浮世絵

### 技術連携(共同研究等)の内容

技術連携先は工学部情報工学科の古川利博先生の研究室および公立諏訪東京理科大学工学部情報応用工学科の田邊造先生の研究室になります。詳しい内容をお話することは出来ないのですが、前述の通り当該研究室と大手企業の共同研究に必要な「試作機開発」という形で当社は参画しています。また、同じ研究室とは自社製品開発のテーマでも共同研究を行っており、この研究開発を進めるに当たっては葛飾区の



「新製品・新技術開発補助事業」による資金的な支援を受けることが出来ました。当該製品は近いうちに販売を開始する予定です。この他にも、葛飾区とURAセンター主催による少人数制の勉強会「テクノロジーカフェ」に積極的に参加したことが、研究者との繋がりを生み、別のテーマでの共同研究も幾つか開始する予定です。現在の当社は「インキュベーションルーム」への入居前では考えられないステージへと成長出来ていると実感しています。

### 事業や業績への影響(技術連携のメリット)

当社は葛飾キャンパスに設置された企業向け研究施設のうち、「インキュベーションルーム(3)」という名称の部屋に入居していますが、入居のメリットは既に経営上の数値として顕著に表れており、入居前と比べて見積り依頼数が徐々に増加し、売上高が約2倍になりました。東京理科大学のキャンパス内に拠点を構えて共同研究に取り組んでいるという事実が、相見積もりでの価格競争を減らすとともに成約率の向上につながり、結果的に業績を向上させました。また、研究者間の横のつながりから新たな技術連携や製作の依頼を呼び込むこともあり、技術力の強化・拡充と研究器材製作の受注増といった、更なる良いサイクルが生まれていることも入居の大きなメリットとなっています。



インキュベーションルーム(3)